

熱気球ツアーにおける安全注意事項

ラスベガス 大迫力の熱気球 90 分ツアーにご参加ありがとうございます。

ご参加前までに次の安全なフライトを送る上での注意事項をご確認願います。

本アクティビティ中は禁煙となります。フライトの前、最中、着陸後も喫煙はご遠慮ください。

まず、お客様のフライトを担当するパイロットとグラウンドクルーをご紹介します。グラウンドクルーは熱気球を膨らます機器の操作を始め、地上から気球を追跡し、着陸後の移動をサポートするスタッフとなります。

グラウンドクルーが熱気球を膨らます間は作業スペースより 2 メートル以上離れたところで鑑賞願います。特に熱気球を膨らまず際には使用するインフレーター（風を送り込む送風機）は非常に強力であるため、近づきますと衣服などがプロペラに巻き込まれる危険性がありますのでご注意ください。

また、同様に熱気球のバスケット（ゴンドラとも呼ばれる乗客が乗る籠）と隣接している移動用のバンの間には立ち入らないようご注意ください。

フライトの前、最中、着陸後も写真撮影の機会は多くございますが、お客様が撮影をお楽しみいただくためにもご自身の撮影機材に対して適切な落下防止対策を実施いただくことを推奨します。フライト中に落とされたものは回収が困難となるうえ、使用できなくなる可能性が非常に高いことをご理解願います。

バスケットにはお客様が立つ場所に離発着時の衝撃を吸収するクッション加工が施された背もたれがあり、設置された輪状の紐とバーナーサポート部分は着陸時に掴めるように設置されています。また、バスケットの乗り降りの際には側面の穴は足を引っ掛けて階段代わりにご利用願います。

着陸準備のガイドライン

熱気球には車輪など着陸の衝撃を吸収する装置はありません。乗客者は下記の着陸態勢に入っていただき、各自で衝撃を逃す必要があります。

- a) 進行方向とは逆側を向き
- b) 着陸の瞬間を意識できるよう、正面を見据える
- c) バスケットのクッション部分に背中を預け
- d) 歩幅は 肩幅と合わせて広げる
- e) 衝撃を吸収できるように膝は軽く曲げ
- f) 手前にある輪状の紐をしっかりと掴む
- g) 前屈姿勢になるよう前に少しかがみ
- h) 後は着陸時にはしっかりとバスケットにお掴まりください。
- i) なお、着陸後は気球が完全に停止したと思ってもバスケットを降りないでください。パイロットより降りる際の指示が出ますので、それまでは必ず待機してください。

熱気球は大地に対して垂直に飛行し、衝撃音とともに着陸し、その後も数十センチから時には数十メートル滑走し続けます。ゆっくりとバスケットが傾きますので乗客はクッション材に身を預けつつ仰向けの状態で停止するまでお待ちください。なお、バスケットが滑走している間は衝撃の吸収とバランスを保てるように着陸態勢のまま前屈みになってください。熱気球の着陸は何度やっても楽しいものですので、是非体験してください。

進行方向は風まかせとなりますが、フライトの高度はパイロットが風を読みつつ調節して行きます。飛行は 45 分～1 時間で 1 キロ弱から 6.5 キロの距離を進みます。

なお、フライトに参加しない方はグラウンドクルーと一緒に気球を追っかける形でアクティビティに参加できます。

フライト中はリラックスしてパイロットとの話をお楽しみください。なお、バーナーが作動している間は話し声が聞こえづらくなりますので、バーナーの作動が停止するまでパイロットへの質問はご遠慮願います。

それでは空の旅をお楽しみください。